

人間文化学科の「栄養」「粉ミルク」「お湯」

人間文化学科 学科長
小原 友行(こばら ともゆき)

人間文化学科のオープンキャンパスによろこそ。学科長を務めています小原友行です。学科を代表して、心より歓迎いたします。

本年は、人間文化学科創設20年の記念の年となります。そこで、まず最初に、20年間で構築されてきたと私自身が感じている学科の魅力(よさや可能性)を、「**栄養**」「**粉ミルク**」「**お湯**」のたとえで紹介させていただきます。

学科長からのメッセージ

➤ 人間文化学科が用意している

➤ 「**栄養**」 「**粉ミルク**」 「**お湯**」

- ◎ 「**栄養**」 : 目指す人材像や実現したい目的・目標
- ◎ 「**粉ミルク**」 : カリキュラム
- ◎ 「**お湯**」 : 教員による授業

「**栄養**」とは、学科が目指す人材像や実現したい目的・目標です。その育成のために開発しているカリキュラムが、「**粉ミルク**」です。そこには、卒業後の未来を生き抜くために必要な沢山の「**栄養**」が含まれています。しかし、どんなにすばらしい「**栄養**」が盛り込まれていても、そのままでは飲むことはできません。「**粉ミルク**」は、教員による

授業という「お湯」で溶かなければ、学習者である学生の皆さんには届きません。教員による「お湯」で溶いた「粉ミルク」を飲むことによって、近未来を生き抜いていく「栄養」を摂取していくこととなります。では、人間文化学科が学生のために用意している「栄養」「粉ミルク」「お湯」とはどのようなものでしょうか。

「栄養」に関しては、次のようなものを大切にしています。一つは、地域・日本・世界の新たな未来の文化や価値を生み出す力である「未来文化創造力」の育成を重視していることです。二つ目は、「未来文化創造力」の育成に必要な不可欠な、5つの「C」の力を大事にしてきたことです。

人間文化学科の「栄養」

◎ 「未来文化創造力」の育成⇒新たな未来の文化や価値を生み出す力

◎ 「未来文化創造力」の育成に必要な5つの「C」

- ✦ ①好奇心 (Curiosity)
- ✦ ②コミュニケーション力 (Communication)
- ✦ ③批判的思考力 (Critical Thinking)
- ✦ ④創造力 (Creation)
- ✦ ⑤挑戦性 (Challenge)

このような「栄養」が含まれた「粉ミルク」としては、「文化(自文化・異文化・文化間交流)を知ること」、「新たな文化を創造すること」、文化間交流や文化創造に必要な「言語能力を磨くこと」を重視したカリキュラムを用意しています。また、備後地域の「3つのもう一つ」を重視したカリキュラムも大事にしています。「地域をもう一つの教室」「地域の人々をもう一人の先生」「地域の教材をもう一つの教科書」とした取り組みです。

人間文化学科の「粉ミルク」

- ◎ 「自文化・異文化・文化間交流を知ること」「新しい文化を創造すること」「言語能力を磨くこと」を重視したカリキュラム
- ◎ 備後地域の「3つのもう一つ」を重視したカリキュラム
 - ① 「地域をもう一つの教室」
 - ② 「地域の人々をもう一人の先生」
 - ③ 「地域の教材をもう一つの教科書」

このような「粉ミルク」を溶いて飲みやすくするための「お湯」として、人間文化学科の教員が大切にしているのが、学生自身が協働しながらよりよい地域・日本・世界の未来への希望の物語を発見・創造・開発・企画・発信していくような、「プロジェクト型」や「アクティブ・ラーニング型」の学習です。

人間文化学科の「お湯」

- ◎ 「プロジェクト型」や「アクティブ・ラーニング型」の学習
 - ⇒ 学生自身が協働しながらよりよい地域・日本・世界の「希望の物語」を発見・創造・開発・企画・発信していくような感動体験学習

このような「**栄養**」「**粉ミルク**」「**お湯**」によって、地域・日本・世界に希望を生み出して
いくことができるような、新たな文化や価値を創造していこうとする、「夢」「希望」そし
て「志」をもった人材を育てていくことを、人間文化学科は目指しています。是非皆さ
んも、挑戦してみてください。